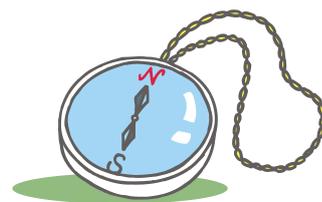


羅 針 盤

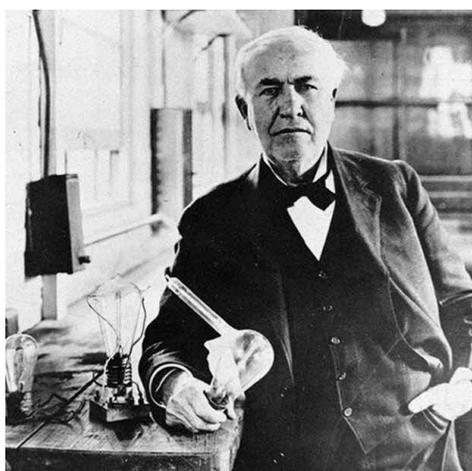


第 **34** 号

令和8年3月16日（月）

◆ エジソンの言葉が教えてくれること

先週末の3月13日（金）に挙行した本校の卒業証書授与式で、第77期生の皆さんに式辞を通じて贈った発明王として名高いトーマス・エジソンの言葉を紹介します。それは「失敗を経験したことの無い人なんていない。成功する人というのは、失敗をしても決して諦めなかった人だ。」という言葉です。卒業生だけでなく、1・2年生の皆さんにとっても、これから先の長い人生では、思い通りにいかないことがたくさんあるはずですが、それでも、諦めなければ、そこには必ずや次のチャンスといったものが待ち受けています。何よりも大切なことは、挑戦する気持ちを持ち続けるということです。中学校を卒業した後は、一人ひとりがそれぞれ別々の道を歩いていくこととなります。真新しい環境の中では、誰もが戸惑いや不安といったものを感じてしまうものです。それでも、皆さんが日常の学校生活を通じて、共に活動し、支え続けてくれている学級や学年の仲間、そして何よりも日々の積み重ねられてきた努力といったものは、決して色あせることなく、皆さんの背中を押してくれる大きな支えとなってくれるものだと思います。蓄音機や白熱電球、活動写真など、生涯の間におよそ1300にもおよぶ数々の発明を行ったエジソンですが、白熱電球のフィラメントをつくる時には、実際に千回失敗したとか、一説によると、六千回の失敗を繰り返したとも伝えられています。エジソンがその生涯でも最も手間と費用をかけた発明というのが自動車用のアルカリ蓄電池で、エジソンはこれを完成させるまでに五万回を超える実験を繰り返したといわれています。エジソンは様々な実験がうまく行かないことにもめげずに、それらを糧として、向き合い、そして、分析しながら多くの発明を世に送り出したというわけです。だからこそ、彼は「私たちの最大の弱点、それは諦めることにある。成功するために最も確実な方法は、常にもう一回だけ試してみることにあります。」という言葉です。夢を追い続け、結果を出したいと願うのであれば、失敗を恐れてはいけないということ。たとえどれだけ遠い道程であったとしても、諦めずに挑戦し続けること。その先にこそ、新たな道が開けていくはずなのです。失敗しない一番確実な方法、それは何でしょうか。それは、挑戦しないということです。けれどもそこからは全く何も生まれてくることはないでしょう。大きな失敗をしまわなくて命を落としてしまったら、残念ながら次につながらないこととなってしまいますが、生きていれば必ず他の何かに役に立つはずなのです。失敗を恐れることなく、挑戦すること。そして、何よりもその失敗と向き合い諦めずに挑戦をし続けることが成功につながり、その過程において大きく成長することのできた自分と出会うことができるのです。成功の反対は、失敗をすることではなく、挑戦することをやめて、諦めてしまうことなのです。結果はどうであろうと、成功までの長い道のりを楽しむことがとても大切なことです。まずは、勇気を出して最初の一步を踏み出してもらいたいと思います。そして、自らが主体となって考え抜いて、日々の努力を怠ることなく、未来の成長した自分を誇らしく思えるためにも、辛抱強く、チャレンジ精神を持ち続けて研鑽という名の努力を続けてもらいたいと心より願っています。



必ず他の何かに役に立つはずなのです。失敗を恐れることなく、挑戦すること。そして、何よりもその失敗と向き合い諦めずに挑戦をし続けることが成功につながり、その過程において大きく成長することのできた自分と出会うことができるのです。成功の反対は、失敗をすることではなく、挑戦することをやめて、諦めてしまうことなのです。結果はどうであろうと、成功までの長い道のりを楽しむことがとても大切なことです。まずは、勇気を出して最初の一步を踏み出してもらいたいと思います。そして、自らが主体となって考え抜いて、日々の努力を怠ることなく、未来の成長した自分を誇らしく思えるためにも、辛抱強く、チャレンジ精神を持ち続けて研鑽という名の努力を続けてもらいたいと心より願っています。